

しだみ東学区通信

Shidami East School district Communication News



◆編集・発行
志段味東学区連絡協議会
学区通信編集委員会
名古屋市守山区大字
中志段味字宮前 1175-1
志段味東コミュニティ
センター内
TEL&FAX 052-736-4506

空き店舗を高齢者憩いの場に —— 知多市先進事例を見学



閉店した店舗（酒屋）を拠点に（やまもりいこいの家）

志段味東学区連絡協議会は昨年12月16日、知多市が進める「知多市高齢者まちかど居場所づくり事業」の一環で事業展開する二つの施設を見学しました。

参加したのは、志段味東学区連絡協議会メンバーの他、学区の民生児童委員、自治会役員やコミセン運営関係者ら30人。また守山区社会福祉協議会からも職員2名が参加しました。

施設見学の前に行われた事業概要の説明では、同市福祉子ども部・長寿課の江端秀和統括主任から、知多市における空き家・居場所づくりに

関する補助事業の概要について説明を受けました。

参加者からの質問に、「市内48カ所にあるサロンのうち、26施設が補助制度を利用して立ち上げられている。施設開設費用として100万円、事業に要する経費の三分の二（補助限度額は年間で20万円）を補助する制度となっている」とあらためて説明。また、他の参加者からは「名古屋市より手厚い補助制度となっており驚いた。高齢者のサロン運営は災害時における安否確認など重要な情報提供もできる。行政や自治会との連携（予算）は必要不可欠のは

ずだ」などの意見が交わされました。

最初に訪れた施設「やまもりいこいの家」は、空き店舗（酒屋）を利用し、体操、オカリナ、ウクレレ、大正琴、脳トレなど定期的に行われる活動を紹介。持ち主である大家さんもスタッフの一員として活動していました。

利用者は月に250人ほどで、一回100円の利用料金が必要とのこと。

次に訪れたのは古民家を活かした「岡田なごやかサロン」。この岡田地区は知多木綿発祥の地でもあり、古い街並みや貴重な伝統・文化が引き継がれています。このサロンも旧知多貯蓄銀行岡田出張所の古民家で、テレビドラマの撮影拠点にもなったそうです。サロンの開設は平成29年10月、費用200万円のうち100万円は市の補助金、残りは持ち主負担とのこと。月平均150人が利用し、一回につき100円を徴収します。

こちらのサロンは利用者同士の「おしゃべり」が中心となっており、各部屋のレイアウトも井戸端会議風なアレンジがされていました。

また、今回訪れた二つの施設の共通点として、利用者の年齢層が75歳以上、男女比も8割以上が女性となっているとのことでした。

学区代表として参加した鎌倉会長は「確かに人材も含め、全てを税金等で賄えば運営は安定



古民家をサロンに（岡田なごやかサロン）

すると思われるが、お金だけではスタッフの笑顔や利用者からの信頼は得られないはずだ。支え合う心、困りごとを共有できるボランティア精神が必要不可欠であるとのスタッフの説明に共感した」と、感想を述べました。

志段味東学区にはコミュニティセンターがあり、様々な教室が定期的に行われていますが、近年、コミュニティセンターまで足を運ばない高齢者が増えているのも事実です。他方で区画整理事業によるまちづくりが大幅に遅れている関係から、学区内には空き家が多く、放火など防犯対策が急務になっています。

空き家と高齢者の居場所づくりをマッチングさせた知多市の先進事例、補助金制度等、国や市の動向を見極めながら、合わせて地域独自で取り組むべき課題として整理していく必要性を強く感じた今回の施設見学となりました。

新年あけましておめでとうございます。



学区の皆様へ、謹んで新年のお喜びを申し上げます。本年も学区の諸活動に対しまして、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◀諏訪社（中志段味）

令和6年1月

まちかどインタビュー vol.9

向こう三軒両隣のような住みよいまちに

今回は、志段味東学区の民生委員・児童委員をまとめる岡本久子会長です。民生委員・児童委員の活動は多種多忙です。小さなお子さんのいる家庭や高齢者世帯の見守りの他、給食ボランティア活動や小学校卒業生への胸花づくりまで。地域住民の生活上の様々な相談に応じる民生委員・児童委員の会長、岡本さんの胸のうちを聞かせていただきました。



手づくり弁当を紹介する岡本さん

Q. いきなりですが、民生の皆さんが、小学校卒業式に卒業生がつける胸花を毎年手づくりで提供していることはあまり知られていないと思いますが、その経緯を教えてください

—平成19年度に小学校の卒業生の皆さんにお祝いすることになり、私たち給食ボランティアとして手作り胸花をお渡ししてきました。コロナ禍の時は市販の物でしたが、令和5年度から手作りを再開しています。

Q. よく「地域住民のつなぎ役」と言われますが、どのような相談がありますか。また実際に解決した事案があれば教えてください

—様々な相談があります。生活の困りごとは各種関係機関へ、介護認定は東部いきいき支援センターへ連絡しています。とりわけ介護認定が決まり、デイサービスやリハビリ施設へ安心して楽しく出かける姿を見ると一安心です。

Q. 民生委員・児童委員を引き受けたきっかけは

—自治会長さんからお話があり、主人と相談をして、地域のお手伝いができるならと引き受けることにしました。

Q. これまでに印象に残っている出来事があれば

—訪問時に住人が倒れ込んでおり救急車を手配したことです。入院され治療を受けましたが、その後退院し、今では元気に生活しています。

Q. 民生委員・児童委員に限ったことではありませんが後継者づくりが大きな課題だと思いますが

—なかなか難しい問題ですが、とにかく私たちの活動をPRすることです。その上で手助けをしてくださる方を募っていますが、時にはひざ詰めですぐで説得する(笑)ことも必要になるかもしれませんね。

Q. 圧倒的に女性が多い組織ですが

—確かに男性は少ないです。男性は定年退職後の地域参加となる場合が多いので、これまでの豊富な知識や経験を地域で発揮していただけるような機会を活動の中で創出していけたらと考えています。↗

志段味東民生委員児童委員協議会(欠員1)

会長	岡本 久子
副会長	加藤 緑
	瀧田 眞美子
	山田 純子
	松永 篤子
	水野 実千代
主任児童委員	清水 ひとみ
主任児童委員	欠員

▽Q. これからの高齢者の居場所づくりのあり方について一言

—地域社会全体の課題として、住民全員がその担い手になっていただくことを願っています。

Q. 最後に、岡本さんの「夢」を教えてください

—昔から言われています「向こう三軒両隣」のような、住みよいまちになることを願っています。ご協力ありがとうございました。



恩師のビデオメッセージに歓声！ 成人の日記念式典



三学区(志段味東・下志段味・上志段味)合同の成人の日記念式典が1月8日、志段味地区会館で開催され、約141人の新成人が参加しました。式典は加藤下志段味学区区政協力委員長の挨拶から始まり、昨年秋から編集作業をおこなってきた卒業時の恩師からのビデオメッセージが始まると会場から歓声が上がりました。

今年は天候にも恵まれ、付き添いの家族も会場入場が可能になったことから4年ぶりに盛大な式典となりました。

編集後記

年末の多忙な時期にもかかわらず、笑顔で向かい入れていただいた知多市関係職員、施設スタッフの皆様にあらためて感謝を申し上げます▼4年ぶりに制限なしで執り行われた成人の日記念式典、恩師のビデオメッセージに歓喜し、懐かしさとともに新成人自身の成長も顧みた瞬間に立ち会うことができました▼こちらも4年ぶり、手分けして集めた食材を分担して調理。久しぶりの手作り弁当に給食ボランティアの意気込みを感じました▼民生委員・児童委員の仕事は幅広です。相談内容も様々で無理難題も多いたか。でも何度も話すうちに信頼関係が生まれてくるのお話に、活動の難しさ大切さを改めて実感しました▼新しい年を迎えました。今年自治会役員改選の年。4月以降は新たなメンバーで再スタートします。引き続き学区の諸活動にご理解とご協力をお願いいたします(K)

能登半島地震・お見舞い

1月1日に発生した能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた皆様に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に対して心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

2024年1月8日
志段味東学区連絡協議会